

研究発表会開催通知

(平成元年8月15日～9月31日)

研究会	日	時	会場	備考
グラフィクスとCAD	8月17日(木) 8月18日(金)	13:00～18:30 9:00～16:30	浜名荘	前号参照
人文科学とコンピュータ	9月1日(金)	10:00～17:00	国文学研究資料館	下記参照
データベース・システム オペレーティング・システム} 合同	9月8日(金)	9:40～17:00	機械振興会館	同上
ソフトウェア基礎論	9月8日(金)	13:00～17:00	同上	同上
ヒューマンインタフェース	9月13日(水)	13:30～17:00	同上	同上
コンピュータと教育	9月14日(木)	13:00～17:00	豊橋技科大	同上
計算機アーキテクチャ	9月19日(火)	14:00～17:00	機械振興会館	同上
ソフトウェア基礎論	9月20日(水)	10:00～17:00	NTT(武蔵野)	同上
コンピュータビジョン	9月21日(木)	13:00～17:00	NTT(横須賀)	同上
自然言語処理	9月21日(木) 9月22日(金)	13:00～17:00 10:00～17:00	NTT(武蔵野)	同上
知識工学と人工知能	9月22日(金)	10:00～17:00	富士通	同上
アルゴリズム	9月22日(金)	13:00～17:10	群大	同上
マイクロコンピュータと ワークステーション	9月22日(金)	14:00～17:00	電機大	同上
ソフトウェア工学	9月26日(火)	10:00～16:30	京大会館	同上
マルチメディア通信と分散処理	9月28日(木)	13:00～17:00	機械振興会館	同上
記号処理	9月29日(金)	13:00～17:00	同上	同上

◆ 第2回 人文科学とコンピュータ研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 杉田繁治, 幹事: 小沢一雅, 及川昭文, 洪 政国)

日時 平成元年9月1日(金) 10:00～17:00

会場 国文学研究資料館

(東京都品川区豊町 1-16-10, 地下鉄: 浅草線戸越下車(西馬込方向改札出口(案内図あり)), 徒歩7分, または、大井町線: 戸越公園下車, 宮前通り第一勧銀の次の四ツ角右折, 徒歩7分. Tel. 03 (787) 6142)

—10:00～12:00—

議題

(1) 人文科学におけるコンピュータ利用の現状と課題

及川昭文(国立教育研)

〔概要〕 人文科学分野において先進的にコンピュータを利用している機関, 研究グループの紹介, および今後の課題について述べる.

(2) 航空写真情報データベースシステムについて 伊東太作 (奈良国文研)
〔概要〕 五万分の一地形図をディジタイザ上でポイントすることによって希望する航空写真を検索するシステムの紹介をする。

(3) 繰り返し設計法によるユーザ・インタフェースの向上性 橋原秀晴, 洪 政国 (日本 IBM), 杉田繁治 (民博)
〔概要〕 民族学研究用画像検索システムのユーザ・インタフェース向上のために試みた繰り返し設計法について報告する。

—13: 30~16: 20—

(4) メディアテックとコンピュータ 波多野宏之 (都立中央図書館)
〔概要〕 マルチメディア・ライブラリとしての<メディアテック>を提唱し, コンピュータ利用による将来性を展望する。

(5) 国語学研究文献データベースの作成 中野 洋 (国立国語研)
〔概要〕 日本語研究に関する雑誌論文約8万件のデータベースと検索プログラムを作成し, 国語学界での利用につとめた。

(6) 国文学研究支援のためのコンピュータ利用 安永尚志 (国文研)
〔概要〕 国文学研究におけるコンピュータ利用, とくにそのデータベースの形成, 管理とその利用システムについて述べる。

—16: 20~17: 00 (見学)—

(7) 国文研コンピュータ施設

◆ 第 73 回 データベース・システム研究会 } 合同
◆ 第 44 回 オペレーティング・システム研究会 }

(発表件数: 9 件)

DBS (主査: 牧之内顕文, 幹事: 大里博志, 清木 康, 佐藤和洋)

OS (主査: 亀田壽夫, 幹事: 川島幸之助, 村松 洋)

日 時 平成元年9月8日(金) 9: 40~17: 00

会 場 機械振興会館 地下3階 研修1号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, JR: 浜松町下車, バス: 渋谷—東京タワー線東京タワー, 渋谷—東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車. Tel. 03 (434) 8211〕

—9: 40~11: 40—

議 題

(1) MVS/ESA における常駐 DB 機能 武藤善八郎 (日本 IBM)
〔概要〕 MVS/ESA の新機能である空間機能の特長を DB の常駐という観点に絞って概説する。

(2) データベースの並列処理を支援するオペレーティング・システムの基本機能 新城 靖, 清木 康 (筑波大)
〔概要〕 マルチプロセッサ環境でデータベースの並列処理を軽量プロセスにより実現する OS の設計について述べる。

(3) DB 統合型 OS の構造と性能評価 高崎繁夫, 平林元明 (日立)
〔概要〕 DB 機能を OS に内包した汎用中小型オペレーティングシステム VOSK の制御構造と性能評価について述べる。

—12: 40~14: 40—

(4) DREAM システムについて 疋田定幸, 川上 英, 吉田 誠, 坂本明史 (沖電気)
〔概要〕 LAN を中心にした, 分散データベースシステム DREAM について概要を述べる。

(5) 分散セグメンテーションに基づくデータベースアクセス方式 國枝和雄, 水谷高康, 大久保英嗣, 津田孝夫 (京大)
〔概要〕 データベース処理向きに開発した分散セグメンテーション方式について述べる。

(6) データベースオペレーティングシステム μ OPT-R における演算処理の高速化

水谷高康, 國枝和雄, 大久保英嗣, 津田孝夫 (京大)

〔概要〕 演算処理の高速化を実現する階層転置型ファイル構造やストリーム指向型演算処理方式等について述べる。

—14:55~17:00—

(7) OS/omicron 上での追記型光ディスクを用いた世代管理ファイルシステムについて

横関 隆, 岡野裕之, 並木美太郎, 高橋延匡 (農工大)

〔概要〕 追記型光ディスクを世代管理に用い, ワークステーションでのソフトウェア開発・文書作成に応用した。

(8) オブジェクト指向データベース管理システムの物理構造仮想化方式

鶴岡邦敏 (日電)

〔概要〕 オブジェクト指向 DBMS において, 内部クラスの多層化により多様なファイル構造を吸収する方式を提案する。

(9) オブジェクト共有型分散オペレーティングシステムの構想

陣崎 明, 樋口昌宏, 玉野 肇, 加藤光幾 (富士通研)

〔概要〕 分散型共有仮想記憶に基づくオブジェクト共有型分散オペレーティングシステムの構想と実現性について述べる。

◆ 第30回 ソフトウェア基礎論研究会

(発表件数: 3件)

(主査: 佐藤雅彦, 幹事: 柴山悦哉, 田中二郎, 萩野達也)

日 時 平成元年9月8日(金) 13:00~17:00
 会 場 機械振興会館 地下3階 2号室(所在地は前記参照)
 議 題

(1) Recursive Type Definition in Parametric Polymorphism

長谷川立 (京大)

〔概要〕 パラメトリック2階ラムダ計算を圏論で再解釈し, その中で再帰的型定義が可能であることを示す。

(2) Object Strage System and Programming Transparency

河野真治, 渡 滋 (ソニー)

〔概要〕 並列 Object 指向言語でのファイルやデータベースを, プログラムとの親和性を損なわないように実現する方法を考察する。ここでは, 記憶階層間でのオブジェクトの相互作用と言う観点によりモデル化をおこなう。

(3) 色効果を利用した GHC デバッグ

前田宗則 (富士通)

〔概要〕 トレース法やスパイ法は大規模プログラムのデバッグに向かない。新しい色の効果を利用した GHC デバッグを提案する。

* 今回の研究会は電子情報通信学会(ソフトウェアサイエンス研究会)との共催で開催されます。上記会告は, 7月10日現在の申し込みによるもので, プログラムは暫定的なものです。上記期日以降の申し込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌8月号に掲載されますのでご了承ください。

◆ 第26回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 木村 泉, 幹事: 角田博保, 黒須正明, 小橋史彦)

日 時 平成元年9月13日(水) 13:30~17:00
 会 場 機械振興会館 地下3階 2号室(所在地は前記参照)
 議 題

(1) コミュニケーションエイドのためのかな一漢字変換法について

井上倫夫, 小林康浩 (鳥取大)

〔概要〕 ALS 患者のための意志伝達補助装置の文章作成方法および辞書を用いたかな一漢字変換法について述べる。

(2) 中指シフト仮名文字配列「花」

富樫雅文 (北大)

〔概要〕 鍵盤仮名文字配列に対して新しいシフト方式を提案する。また, 計算機による配列最適化の方法について報告する。

- (3) 自由打鍵実験による打鍵時間分析 富樫雅文 (北大)
〔概要〕 文字配列に依拠しない自由打鍵実験による約 100 万ストロークの打鍵データに対する解析結果を報告する。
- (4) チュートリアル：グループウェアの動向とマルチユーザインタフェース技術 石井 裕, 大久保雅且 (NTT)
〔概要〕 人間の協同作業を支援するグループウェアの技術動向とマルチユーザインタフェース技術について解説する。

◆ 第7回 コンピュータと教育研究会

(発表件数：5件)

(主査：有山正孝, 幹事：雨宮幸雄, 大槻説乎, 竹谷 誠)

日 時 平成元年9月14日(木) 13:00~17:00

会 場 豊橋技術科学大学 語学センター 大講義室

〔豊橋市天伯町字雲雀ヶ丘 1-1, JR: 豊橋下車, 豊鉄バス (3番乗場): 細谷行または技科大行で技科大前下車 (約25分). Tel. 0532 (47) 0111 内 557〕

議 題

- (1) 専門学校における SE 教育のあり方について 河村一樹 (日本電子専門学校)
〔概要〕 従来からの PG 教育ではなく, SE 教育へと転換をはかるための新しい技術教育のあり方について提案する。
- (2) 授業進行にともなう女子学生のコンピュータに対する態度の変容 松田浩平 (豊橋短大)
〔概要〕 質問紙による態度スケールを用いて, 授業ガイダンス時と半期終了時の態度を比較検討する。
- (3) 語学教育 CAI システム: L-TUTOR について 山田泰史, 河合和久, 大岩 元 (豊橋技科大)
〔概要〕 英語, 独語, 外国語としての日本語等多種の語学教育用 CAI システム L-TUTOR の設計と実現について述べる。
- (4) 漢字教育 CAI: J-TUTOR の教材開発 河合和久, 吉村弓子, Randall Cummings, 大岩 元 (豊橋技科大)
〔概要〕 われわれの開発した漢字教育 CAI システム J-TUTOR の教材開発について, 計算機支援の観点から論じる。
- (5) 教育におけるコンピュータ利用の効果 今栄国晴 (愛知教育大)
〔概要〕 コンピュータ利用の効果・有効性に関する研究をレビューするとともに, 教育利用のあり方を考える。

◆ 第70回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数：4件)

(主査：田中英彦, 幹事：後藤厚宏, 長谷川隆三, 横田 実)

日 時 平成元年9月19日(火) 14:00~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 2号室 (所在地は前記参照)

議 題

- (1) 高速データベースマシン HDM のアーキテクチャ 浅野拓哉, 峯村治実, 中村俊一郎 (三菱電機)
〔概要〕 専用マシン化と並列処理方式によって高速なリレーショナルデータベース処理を実現した方法について述べる。
- (2) アナログニューロチップを用いたニューロコンピュータシステム 加藤英樹 (富士通研), 杉浦義英, 土屋主税 (富士通)
〔概要〕 アナログニューロチップを用いたニューロコンピュータシステムのアーキテクチャについて述べる。
- (3) 意味ネットマシン IXM 第2版の概要 樋口哲也, 古谷立美, 半田剣一, 楠本博之, 国分明男 (電総研)
〔概要〕 73台のプロセッサと大容量連想記憶から成る意味ネットマシン IXM 2 を製作したので, その概要を報告する。
- (4) 並列計算機テストベット Attempt の実装と評価 天野英晴 (慶大)

〔概要〕 並列計算機テストベッド ATTEMPT 一号機を作成し、その性能を評価する。

* IEEE Computer Society Tokyo Chapter 協賛

◆ 第31回 ソフトウェア基礎論研究会

(発表件数: 10件)

(主査: 佐藤雅彦, 幹事: 柴山悦哉, 田中二郎, 萩野達也)

日時 平成元年9月20日(水) 10:00~17:00

会場 NTT 武蔵野研究センター 講堂

〔武蔵野市緑町 3-9-11, JR (中央線): 三鷹 (北口) 下車, 関東バス (1番乗場): 北裏行 (便多数) 武蔵野市役所前下車, 信号左折し徒歩5分. Tel. 0422 (59) 4047〕

—10:00~12:20—

議題

(1) TRS プログラムの自動合成 富樫 敦 (東北大), 千葉和也 (富士ゼロックス), 野口正一 (東北大)

〔概要〕 帰納的推論による TRS プログラムの合成アルゴリズムについて述べる。種々の改良について触れたい。

(2) TRS コンパイラをもちいた高速完備化アルゴリズム 外山芳人 (NTT)

〔概要〕 TRS コンパイラを動的にもちいて完備化アルゴリズムを10倍以上高速化する手法について論ずる。

(3) 関数型プログラムにおける不要セル検出の最適化実現方法 井上克郎, 鳥居宏次 (阪大)

〔概要〕 関数型言語プログラムにおいて、不要セルの発生を静的に検出し、実行時に即時回収する最適化手法の実現について述べる。

(4) Evaluation Partial Order and Synchronization Mechanisms in Parallel Functional Programs

武市正人 (東大)

〔概要〕 関数プログラムの並行評価における部分式の評価順序と同期機構の関係を述べる。non-strict な関数プログラム言語の処理系による実験にも触れる。

—13:20~17:00—

(5) Metis による拡張単一化の完全性 大須賀昭彦 (東芝), 坂井 公 (ICOT)

〔概要〕 項書き換え系生成システム Metis 上に実装された等式論理を法として単一化を行う拡張単一化アルゴリズムについて述べる。このアルゴリズムは完全であり、等式論理に対応する完備な項書き換え系を前提としない。

(6) SST/ \mathcal{A} に基づく構成的プログラミング 亀山幸義 (東北大)

〔概要〕 プログラム言語 \mathcal{A} による、構成的数学体系 SST の証明、プログラム抽出システムの実現について述べる。

(7) Locally Small Fibration に基づく型体系 武山 誠 (東大)

〔概要〕 locally smally fibration は一種の型システムを内包している。従来の型システムを拡張することで、すっきりした対応を得る。

(8) ML-style polymorphism is an (internal) ccc theory 佐藤周行 (東大)

〔概要〕 プログラミング言語 ML の型システムのモデルとして、internal ccc を与え、その中で、種々の操作を自然に記述する。

(9) Modularity of Simple Termination of Term Rewriting Systems 栗原正仁, 大内 東 (北大)

〔概要〕 関数記号を共有しない2つの項書き換えシステムがそれぞれ単純停止性をもつときに限り、その直和システムも単純停止性をもつことを示す。

(10) On the completion algorithm for possibly nonterminating and nonlinear term rewriting systems

小川瑞人, 小野 諭 (NTT)

〔概要〕 本発表においては、 ω -無曖昧な (停止性を満たすとはかぎらない) 項書き換え系を対象とする完備化アルゴリズムについて考察する。

* 今回の研究会は、日本ソフトウェア科学会 (関数的プログラミング研究会) との共催で開催されます。

◆ 第 62 回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数：5 件)

(主査：鳥脇純一郎，幹事：大田友一，田島譲二)

日 時 平成元年 9 月 21 日 (木) 13：00～17：00

会 場 NTT 横須賀研究開発センター

〔横須賀市武 1-2356，京浜急行 (久里浜線)：野比下車 (品川から約 60 分，横浜から約 45 分)，京急バス：通信研究所行終点で下車 (約 10 分)，またはタクシー (約 10 分)，Tel. 0468 (59) 3862〕

議 題

(1) 画像処理の国際標準化動向 藤村是明 (電総研)

〔概要〕 最近米国が国際的な提案として出してきた，画像処理標準化計画の概要の紹介を行う。

(2) 時空間フィルタを用いた多重オプティカルフローの抽出法 志沢雅彦，間瀬健二 (NTT)

〔概要〕 半透明な物体などを含む動画像の解析に有効な多重オプティカルフローの抽出法を提案する。

(3) 局所平面近似による道路形状復元 渡辺一成，金谷健一 (群大)

〔概要〕 局所平面近似を射影幾何学的に解析し，曲線あてはめにより，道路の 3 次元形状を十分遠方までロバストに復元する。

(4) 三次元構造を考慮したアニメーション画像のフレーム間対応

塩原守人，清水誠也，後藤敏行 (富士通研)

〔概要〕 隣接面境界での不連続性より画像の法線方向での面の相対位置関係を抽出する方法とアニメ画像への応用例を示す。

(5) 部品イラスト図面からの文字列パターンの抽出

武田晴夫 (日立)，小野裕次郎 (日立京葉エンジニアリング)

〔概要〕 部品イラスト図面上の任意の位置に記載された文字列パターンを自動的に抽出するアルゴリズムについて述べる。

—16：30～17：00 (見学)—

(6) ビジョン関係研究室 (見学)

◆ 第 74 回 自然言語処理研究会

(発表件数：14 件)

(主査：田中穂積，幹事：田中裕一，徳永健伸，内藤昭三)

日 時 平成元年 9 月 21 日 (木) 13：00～17：00

9 月 22 日 (金) 10：00～17：00

会 場 NTT 武蔵野研究センター 6 号館 202B 号室

〔武蔵野市緑町 3-9-11，JR (中央線)：三鷹 (北口) 下車，関東バス (1 番乗場)：北裏行 (便多数) 武蔵野市役所前下車，信号左折し徒歩 5 分。Tel. 0422 (59) 3047 (内藤)〕

9 月 21 日 (木)

—13：00～17：00—

議 題

(1) 意味計算Ⅱ 赤間 清 (北大)

〔概要〕 一般的な制約を扱う制約つき変数 (集合束縛変数を含む) と，その自然言語処理への応用について述べる。

(2) 日本語解析における最適解探索 平川秀樹，天野真家 (東芝)

〔概要〕 日本語の各種レベルの処理で，複数解析候補の中からもっとも優先度の高い候補を選択する手法について考察する。

(3) 自然な文章生成のための規範 吉村裕美子，平川秀樹，天野真家 (東芝)

〔概要〕 自然で理解容易な文章を生成するためのポイントとなる，語順操作，句読点操作，構文選択の 3 事項について述べる。

(4) プラン認識に向けての対話分析 古瀬 蔵，内藤昭三，片桐恭弘，島津 明 (NTT)

〔概要〕 協調的対話において、聞き手が、話し手のプランをどのように認識し、評価するかに関する分析について述べる。

(5) 並列論理型言語による一般化 LR 構文解析アルゴリズムの実現

沼崎浩明, 田中穂積 (東工大), 田村直良 (横浜国大)

〔概要〕 自然言語処理のための一般化 LR 構文解析アルゴリズムを並列論理型言語の枠組で記述し、その有効性を確認した。

(6) 曖昧さの効率的処理のための構文解析手法について

菅野祐司, 長尾健司 (松下電器)

〔概要〕 文を解析する際に生じる種々の曖昧さを効率よく処理する意味表現・操作および構文解析の手法を述べる。

9月22日 (金)

—10:00~12:00—

(7) 日本語の数量表現とその英語への機械翻訳に関する一考察

吉武 敦, 高山泰博, 鈴木克志, 太細 孝 (三菱電機)

〔概要〕 文節レベル、構文レベルでの日本語の数量表現についての知見、英語へ機械翻訳する際の注意点等を述べる。

(8) 概念体系に基づく格関係

奥村登貴子 (EDR)

〔概要〕 概念体系に準拠して必須格を定義する方式について、従来の方法との違いと例文解析による検証結果を述べる。

(9) 横型トップダウンパーザ YAPX の実現と評価

林 達也, 宮 俊司 (富士通)

〔概要〕 すでに発表した YAPX を基本とし、さらに文脈依存規則等を許した ACFG (Augmented CFG) に基づく文解析サブシステムの機能・性能について報告する。

—13:00~17:00—

(10) 発見的グラフ探索法を用いた日本語形態素解析

長尾健司, 菅野祐司 (松下電器)

〔概要〕 A^* 法を最小コスト $+\alpha$ 以下のパスをすべて出力するように改良し、これをベースに形態素解析を実現する。

(11) 物語文章における名詞句の指示対象の数について

桃内佳雄 (北海学園大)

〔概要〕 物語文章において名詞句により参照される対象の数を同定するための手がかりについて考察する。

(12) 並列型パーザによる中国語文解析

寺下陽一, 二口邦夫, 鈴木 悟 (金沢工大)

〔概要〕 べた書き中国語文の解析に並列型パーザを適用し、主に分かち処理、品詞同定を中心とした実験を報告する。

(13) 質疑応答システムのための日本語文の理解と生成

竹本信治, 田口勝豊, 中川聖一 (豊橋技科大)

〔概要〕 自然言語で書かれた命題文を一階述語論理表現に変換する。スロット値が推定できない場合はユーザへ質問文を生成する。

(14) 談話における名詞句指示解析

今野裕司, 中川裕志 (横浜国大)

〔概要〕 名詞句を指示する際に用いるコソア指示詞が、状況によってどのように談話に現れるかを定式化する。

◆ 第66回 知識工学と人工知能研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 諏訪 基, 幹事: 中島秀之, 西田豊明, 原口 誠)

日 時 平成元年9月22日 (金) 10:00~17:00

会 場 富士通 情報処理システムラボラトリ B棟 研修室

(大田区新蒲田 1-17-25, JR: 蒲田 (西口) より徒歩6分. Tel. 03 (735) 1111)

—10:00~12:00—

議 題

(1) ニューラルネットのスケジューリング問題への応用

エド ビアジオニ (東芝)

〔概要〕 スケジューリング問題に3種のニューラルネット方式を応用した。各々の特徴、この問題への適合性を述べる。

(2) Prolog とニューラルネットワークの結合システム Neuro-Prolog

今中 武, 上原邦昭, 豊田順一 (阪大)

〔概要〕 感性など論理表現が困難な情報をニューラルネットで、論理的情報を Prolog で扱う結合システムを説明する。

—13:30~17:00—

(3) ATMS のペトリネットによるモデル化

水島由美子, 本位田真一 (東芝)

〔概要〕 ATMS をペトリネットを用いてモデル化することにより得られる種々の結果について述べる。

(4) Situated ATMS

飛鳥井正道 (キヤノン)

〔概要〕 ATMS に状況概念を導入することにより、組合せの爆発の問題などを解決する Situated ATMS を提案する。

(5) 拡張された極小限定のコンパイル法

沈 涵, 中川裕志 (横浜国大)

〔概要〕 層状プログラムにおける unfold/fold 変換を提案する。それを用いて、極小限定のコンパイル法への応用を試みる。

(6) 意味マッチングによる隠喩理解

森 辰則, 中川裕志 (横浜国大)

〔概要〕 部分同一性を含む同一性認識過程として意味マッチングを提案し、これを用いた簡単な隠喩理解などを考察する。

◆ 第10回 アルゴリズム研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 野崎昭弘, 幹事: 今井 浩, 中村勝洋, 西関隆夫)

日 時 平成元年9月22日(金) 13:00~17:10

会 場 群馬大学 工学部 本館4階 第1会議室

〔桐生市天神町 1-5-1, JR (両毛線): 桐生下車, 徒歩 20 分, または天神町行バスで群大前下車, 東武伊勢崎線: 新桐生下車, 天神町行バスで群大前下車. Tel. 0277 (22) 3181〕

議 題

(1) 2値画像の一符号化法と演算アルゴリズム

西谷泰昭, 吉田浩幸, 清水賢資 (群大)

〔概要〕 画素を整数として符号化する2値画像の表現手法を提案し、その演算アルゴリズム、記憶容量について考察する。

(2) On Translating a Set of c-Oriented Objects in Three Dimensions

譚 学 厚, 平田富夫, 稲垣康善 (名大)

〔概要〕 面と辺が共に定数種類の方向を持つような物体について三次元空間における平行移動問題を調べる。

(3) k - (辺)連結全域部分グラフを求めるアルゴリズム

永持 仁 (豊橋技科大), 茨木俊秀 (京大)

〔概要〕 k - (辺)連結グラフの $0(kn)$ 本の辺を持つ k - (辺)連結全域部分グラフを線形時間で求める (n はグラフの点数)。

(4) An Efficient Algorithm for Finding Compensation Paths in a Large-Scale Systolic Array

小澤孝夫 (京大)

〔概要〕 欠陥処理素子を含む大規模なシストリックアレイを再構成するために必要な修復パスの構成アルゴリズムを与える。

(5) 文字配置問題に関連した種々の Voronoi 図について

青沼裕美, 今井 浩 (九大), 徳山 豪 (日本 IBM)

〔概要〕 多角形領域への文字配置問題に関連した種々の静的および動的 Voronoi 図について論じる。

(6) アルゴリズムとデータ構造に関するワークショップおよび計算幾何学コンファレンス (ともにカナダ) の報告 (予稿なし)

〔概要〕 標記のカナダで開催される2会議の報告をする。

* 研究会終了後、懇親会を予定しておりますので奮ってご参加ください。

◆ 第57回 マイクロコンピュータとワークステーション研究会 (発表件数: 3件)

(主査: 若鳥陸夫, 幹事: 氷治義弘, 森本陽二郎, 山田 剛)

日 時 平成元年9月22日(金) 14:00~17:00

会 場 東京電機大学 7号館 7704A号室

〔東京都千代田区神田錦町 2-2, 地下鉄: 千代田線新お茶の水下車, 徒歩5分. Tel. 03 (294) 1551 内 2209〕

議 題

- (1) 記録系, 動画像符号化方式の検討 大町隆夫(日電)
〔概要〕 記録用の動画像符号化方式として CD-ROM を想定した符号化レート 1.2 Mbit/sec でのアルゴリズムを検討した。
- (2) レーザディスク・システムについて 金丸 斉(バイオニア)
〔概要〕 NTSC テレビジョン信号フォーマットによる, 再生専用光学式ビデオディスク・システムについて述べる。
- (3) CD-I 嶋村信行(マイクロボード)
〔概要〕 コンパクトディスクをもちいたマルチメディアの CD-インタラクティブについて述べる。

◆ 第68回 ソフトウェア工学研究会 (発表件数: 8件)

(主査: 原田賢一, 幹事: 宇都宮公訓, 大槻 繁, 永田守男)

日 時 平成元年9月26日(火) 10:00~16:30

会 場 京大会館 1階 101号室

〔京都市左京区吉田河原町 15-9, JR: 京都(烏丸口・北口)から市バス(A2乗場): 206系統(東山通り経由), または, 地下鉄: 今出川から市バス: 201系統(循環右回り=百万遍方面行き), または, 阪急河原町, 京阪四条から市バス: 201系統(循環左回り=百万遍方面行き), いずれも東一条下車, 東一条交差点(五叉路)を京大時計台と反対方向へ徒歩約5分. Tel. 075 (751) 8331~2〕

議 題

—10:00~12:00—

- (1) 対話支援型部品合成システムの試作 岸美保子, 加地浩一, 松村一夫(東芝)
〔概要〕 状態遷移をベースとした部品合成システムにおける, 合成メカニズムとそれに基づく対話支援方式について述べる。
- (2) 自動プログラミングシステムの構築に必要な部品とその完備性の保証について 古宮誠一(IPA)
〔概要〕 部品合成による自動プログラミングシステムの構築にどのような部品をどれだけ用意すればよいかについて論ずる。
- (3) ハードウェア記述言語からのシミュレータ自動生成 井上勝博(東芝)
〔概要〕 ソフトウェア論理テストツールとしてのシミュレータをハードウェア記述言語から自動生成する方式について述べる。

—13:00~14:20—

- (4) ソフト共通問題の代数的仕様記述 田中哲雄(日立)
〔概要〕 代数的言語による並列処理の仕様記述方法をソフト共通問題を具体例として提案する。
- (5) ソフトウェア仕様記述過程の分析のための基礎的実験 池 克俊, 海谷治彦, 佐伯元司(東工大), 本間 学(産能短大)
〔概要〕 状態遷移図とデータフロー図を記述する過程の履歴をとり, 人間がシステムを仕様化する過程について分析検討した。

—14:30~16:30—

- (6) 移植プロセスのモデル化と評価 栄 光宏(東芝)
〔概要〕 ソフトウェア移植作業の工学的なアプローチ方法として移植プロセスのモデル化を試みた結果について報告する。

(7) ハイパテキストを用いた設計プロセス支援ツールの試作

田村直樹, 中島 毅, 藤岡 卓, 上原憲二, 高野 彰 (三菱電機)

〔概要〕 設計時の思考過程のモデルに基づき, 設計作業を支援しながらその設計プロセスを記録するツールの試作結果を示す.

(8) ソフトウェア柔構成方式としてのソフトン

岸本芳典, 山野紘一 (日立)

〔概要〕 ソフトウェアアーキテクチャの一方式として, 部品間インタフェースを限定化するソフトン方式を提案する.

◆ 第 43 回 マルチメディア通信と分散処理研究会

(発表件数: 6 件)

(主査: 松下 温, 幹事: 水野忠則, 山崎清明, 若山博文)

日 時 平成元年9月28日(木) 13:00~17:00

会 場 機械振興会館 6階 67号室 (所在地は前記参照)

議 題

(1) super C プログラム開発支援環境

勝山光太郎, 中川路哲男, 佐藤文明, 楠 和浩, 水野忠則 (三菱電機)

〔概要〕 オブジェクト指向言語 super C を利用して開発する通信ソフトウェアの開発支援環境について述べる.

(2) OSI RDA プロトコルの実装

西山 智, 杉山敬三, 小花貞夫, 鈴木健二 (KDD)

〔概要〕 OSI RDA (遠隔データベースアクセス) プロトコルの実装とその評価について報告する.

(3) OSI CCR の実装と RDA トランザクションへの適用

杉山敬三, 西山 智, 小花貞夫, 鈴木健二 (KDD)

〔概要〕 OSI CCR プロトコルの実装と RDA トランザクションへの適用を行ったので, その概要と評価について述べる.

(4) OZ: オブジェクト指向開放型分散システムアーキテクチャ-LLC タイプ3をベースにした通信アーキテクチャ, 実装, およびその評価—

塚本享治 (電総研), 吉江信夫 (住友電気)

近藤貴士 (シャープ), 水谷 功 (住友電気), 田中伸明 (松下電器)

〔概要〕 LLC タイプ3を用いたコネクションレス型ネットワークに基づくオブジェクト指向開放型分散システム OZ を実現した.

(5) 分散型チェックポイントと復旧

滝沢 誠, 宮島勝己 (電機大)

〔概要〕 分散型トランザクションの有効なチェックポイントの取り方と, 復旧方法について論じる.

(6) オーダエントリシステムにおける音声入力方式とユーザインタフェースの評価

阪上晃一, 勝俣雅司 (NTT)

〔概要〕 不確実な認識結果を問合せ, 修正する入力方式を提案し, よいユーザインタフェース実現のための基準を述べる.

◆ 第 54 回 記号処理研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 中西正和, 幹事: 小谷善行, 多田好克)

日 時 平成元年9月29日(金) 13:00~17:00

会 場 機械振興会館 6階 65号室 (所在地は前記参照)

議 題

(1) Lisp での繰り返しの記述について

大田一久 (日本ユニシス)

〔概要〕 Lisp で繰り返し処理を記述する方法はいくつかあるが, それらについてわかりやすさ, 効率などを比較検討する.

(2) 圧縮と複写のくず集め方式の接点

寺島元章 (電通大)

〔概要〕 圧縮と複写という利害得失の異なる2方式を融合させたくず集めについて論じる.

(3) Lisp における視覚プログラミング

田添英一 (慶大)

〔概要〕 Lisp プログラミング環境に視覚情報を取り入れユーザ・インタフェースの充実を図る。マイコンの導入、リスト表現の改良、デバッグ環境の支援などによりこれを実現する。

(4) グラフィカルユーザインタフェースのモデル化に関する一検討

高田久靖 (NTT)

〔概要〕 オブジェクト指向モデルに制約関係を導入した新しいグラフィカルユーザインタフェースモデルを提案する。

◆ プログラミング言語研究会

第22回 研究会を下記のとおり開催いたします。奮ってご参加ください。なお、詳細は次号(9月号)をご参照ください。

日 時 平成元年10月5日(木) 13:00~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 2号室

議 題

- (1) 並列論理型言語 KL1 の多重参照管理によるガーベジコレクション 木村康則, 近山 隆 (ICOT)
- (2) 縮退した解析木上のインクリメンタルな解析 海尻賢二 (信州大)
- (3) ストリームに基づいた並列意味処理の記述 西山博泰 (筑波大)
- (4) OZ: オブジェクト指向開放型分散システムアーキテクチャ — オブジェクト指向型分散プログラミング言語の複数ユーザ環境への拡張— 塚本享治 (電総研), 田中申明 (松下電器), 中込昌吾 (エービーシー) 近藤貴士 (シャープ), 水谷 功 (住友電気)

◆ 情報学基礎研究会

第15回 研究会を下記のとおり開催いたします。

日 時 平成元年10月6日(金) 午後(論文発表)

7日(土) 午前(論文発表, 歴史民俗博物館・システム見学)

会 場 国立歴史民俗博物館 (千葉県佐倉市)

特 集 マルチメディア・知識情報の意味を見直そう

マルチメディア・知識情報の処理にたずさわるさまざまな立場の人々(コンピュータを使用せず処理している人, ソフトウェアシステムの研究・開発者, システムの利用者ほか)との意見交換・議論を通じて, マルチメディア・知識情報の持つ意味・構造や表現・生成・伝達・理解の形式について, より一層理解を深めましょう。先駆的論文発表と共に, 国立歴史民俗博物館, 歴史系マルチメディア情報処理支援システム, およびその原資料の見学を予定しています。奮ってご参加ください。詳細なプログラム, 会場, 宿泊施設などについては, 次号(9月号)で発表ご案内します。

◆ ソフトウェア工学研究会

第69回 研究会は「知的ソフトウェア開発」をテーマとし, 人工知能学会と共催で下記のとおり計画しています。

ソフトウェア開発にかかわる知的な作業文を, 計算機に自動的に行わせるための理論, モデル, ツール, 方式, 経験などの発表申込みを歓迎いたします。発表をご希望の方は, 8月31日(木)までに研究会発表申込書(本欄末添付)題目と50字以内の概要を記入のうえ, 学会事務局研究会担当までお申込みください。

日 時 平成元年11月24日(金) 9:00~17:00

会 場 青山学院大学 総合研究所ビルディング

◆ 計算機アーキテクチャ研究会

第71回 研究会を下記のとおり開催いたします。当日は「並列処理」を特集としますので, 多くの方の発表をお待ちしております。奮ってご応募ください。

発表をご希望の方は, 研究会発表申込書(本欄末添付)に発表題目と発表者名, 50字以内の概要を記入のうえ, 学会事務局研究会担当までお申し込みください。

日 時 平成元年11月20日(月)・21日(火)

会 場 神戸ポートピア (予定)

発表申込締切日 平成元年9月1日(金)

◆ 研究発表会開催予定 (10月～1990年3月)

(研究会名)	(開催日・会場)
自然言語処理	1月19日(金) 福岡工大 3月上旬 阪大
データベース・システム	11月17日(金) 広大 1月18日(木) 機・B3-1 3月12日(月) 機・B3-2
知識工学と人工知能	11月8日(水) 機・6F-62 1月18日(木)・19日(金) 阪大 3月22日(木) 機・B3-研1・23日(金) 機・B3-研2
記号処理	11月22日(水) 富山 1月 東大 3月 電総研
ソフトウェア工学	11月24日(金) 青山学院大 12月8日(金) 機・B3-1 2月8日(木)・9日(金) 地方
マイクロコンピュータとワークステーション	12月1日(金) 機・B3-1 2月20日(火) 機・B3-2
計算機アーキテクチャ	11月20日(月)・21日(火) 神戸大ポートピア 1月25日(木)・26日(金) 福井大 3月23日(金) 機・B3-2
オペレーティング・システム	11月10日(金)・11日(土) 宇都宮大 2月23日(金) 機・6F-65
コンピュータビジョン	11月16日(木) 金沢大 1月25日(木)・26日(金) 阪大 3月27日(火) 機・B3-研1
設計自動化	10月24日(火)・25日(水) 明大 12月14日(木)・15日(金) 奈良女子大 2月20日(火) 機・B3-1
マルチメディア通信と分散処理	1月26日(金) 機・6F-65
ヒューマンインタフェース	11月9日(木) 機・B3-2 1月18日(木) 機・B3-2 3月9日(金) ATR
グラフィクスとCAD	10月19日(木) 九大 12月15日(金) NTT(横須賀) 2月23日(金) 機・B3-2
数値解析	10月7日(土) 名大 12月8日(金) 機・B3-2 3月17日(土) 統計数理解析研
ソフトウェア基礎論	11月13日(月) ATR 12月8日(金) 富士通 3月9日(金) 機・B3-2
情報システム	10月23日(月) 機・B3-2 1月16日(火) 機・B3-1 3月20日(火) 機・B3-2
プログラミング言語	10月5日(木) 機・B3-2 12月8日(金) 富士通 2月 筑波大

情報学基礎	10月6日(金) 歴博 12月7日(木) 機・B3-1
コンピュータと教育	11月9日(木) 電通大 2月15日(木) 機・B3-2
アルゴリズム	10月24日(火) 日本IBM 11月20日(月)~22日(水) 福岡 1月24日(水) 機・B3-研1 3月29日(木) 三菱(大船)
人文科学とコンピュータ	12月1日(金) 奈良研 3月9日(金) 東京

注) 機-機械振興会館

* 各研究会に発表申込希望者は開催の3カ月前までに研究会発表申込書(本欄添付)を事務局研究会係までご送付ください。

本会協賛等の行事案内*

セミナー「情報処理サービス産業の問題点と健全化」

平成元年9月13日(水)~14日(木)

大阪・なにわ会館

平成元年9月21日(木)~22日(金)

東京・ダイヤモンド社

第20回 国際産業用ロボット・シンポジウム

平成元年10月4日(水)~6日(金)

東京・経団連会館

理化学研究所第12回科学講演会

平成元年10月24日(火)

富山県民会館

「交通・運輸におけるICカードの利用」セミナー

平成元年10月25日(水)

東京・銀座ヤマハホール

'89 センシング技術応用セミナー

平成元年12月7日(木)~8日(金)

大阪・住友ビル

第4回 光波センシング技術研究会講演会

平成元年12月14日(木)~15日(金)

大阪・三田出版会

* 詳細は本号会議案内欄参照

年 月 日

研究会発表申込書 (様式 2)

太線枠内のみご記入ください。

研究会名	研究会			
発表希望の 研究会開催日	年	月	日	()
タイトル				
発表者名 (略称所属)				
概要 (50 字以内)				
原稿用紙送付先住所	〒	Tel.	—	— (内線)
氏 名				

年 月 日受付

研究会名 資料 No. 開催日 幹事送付済み その他

		年 月 日		
--	--	-------	--	--

創立 30 周年記念論文の公募について

情報処理学会では創立 30 周年を記念して、下記により「記念論文」を公募中です。会員の皆さまは奮って応募されますようご案内いたします。

1. 応募資格

情報処理学会の会員（正会員、学生会員、海外会員）であること。共著可。

2. 論文の性格と書き方

ア. 情報処理に関するオリジナルな論文であること。

イ. 論文は邦文または英文とする。

ウ. 邦文論文は「情報処理学会論文誌原稿執筆案内」、英文論文は「欧文誌 JIP 原稿執筆案内」の書き方にそれぞれよることとするが、制限ページはいずれも刷り上り B 5 判 12 ページとする。したがって英文論文の場合「欧文誌 JIP 原稿執筆案内」には“刷り上り 1 ページは、通常のテキストでは 1,000 語程度”とあるが、本記念論文の場合は 620 語程度となるので注意のこと。ただし、論文はできるだけ簡潔にまとめることが望ましい。

3. 応募方法

ア. 正論文 1 部およびコピー 5 部を提出すること。

イ. 応募論文の第一ページ標題の左肩に「創立 30 周年記念論文」と明記すること。

ウ. 締切 1989 年 8 月 31 日

エ. 送付先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3 F

(社)情報処理学会事務局 「創立 30 周年記念論文係」

4. 応募論文の取扱い

ア. 応募論文は記念論文査読委員の査読結果に基づき、拡大論文誌編集委員会で受賞論文の候補を決定する。原則として論文を著者に照会することはしないが、受賞決定後に執筆について助言することがある。

イ. 記念論文選定委員会は 10 編を限度として受賞論文を選定する。受賞論文のうち、特に優秀なもの 3 編以内を入選論文とし、そのほかを佳作論文とする。

ウ. 選定結果は「創立 30 周年記念式典」において公表し、受賞論文の表彰をおこなう。

エ. 受賞論文は「創立 30 周年記念学会誌」に掲載し、また「1990 年後期全国大会」において講演発表する。

オ. 受賞しなかった論文は著者の希望により一般論文扱いとする。

5. 表 彰

ア. 受賞論文のすべての著者に対して表彰状および記念品を授与し、受賞論文ごとに賞金を授与する。

イ. 受賞論文 1 編につき論文別刷 100 部を贈呈する。

6. そ の 他

不明の事項については、本学会事務局に問い合わせること。

第 39 回 全国大会 (平成元年後期) 概要および論文集予約

- 開催期日** 平成元年 10 月 16 日(月)~18 日(水)
- 会場** 九州工業大学 (北九州市戸畑区仙水町 1-1)
- 参加費**
- 一般参加者 大会当日会場にて受け付けます (発表者を除く)。賛助会員は 1 口 1 名として正会員に準じます。電子情報通信・電気・照明・テレビジョン各学会会員扱いとします。
会員 1,000 円 非会員 2,000 円
- 論文集予約** 予約を原則とします。前号綴込みの申込書により、9 月 8 日(金)までに事務局へお申込みください。
予約価 5,000 円 (定価 6,000 円) 送料 950 円
(予約者以外にお頒けできるのは、大会当日残部のある場合に限りです)
- プログラム** プログラムの詳細は 9 月号に掲載されます。とくに発表者は、発表の日時につき、ご確認ください。
- 特別講演** (10 月 16 日 10:30~11:30)
The Common Lisp Object System (仮題) Gregol Kiczales (Xerox PARC)
- 招待講演** (10 月 17 日 12:30~14:30)
史跡が語る北部九州の歴史と文化 川添 昭二 (九大)
- パネル討論** (2 件)
(10 月 16 日 12:30~14:45)
LSI 設計用記述言語 (仮題) 司会 須藤 常太 (NTT)
(10 月 18 日 12:30~14:45)
インタラクティブな自然言語処理をめぐって 司会 吉田 将 (九工大)
- 一般セッション (論文発表申込 1,169 件)
- 懇親会** 第 2 日目 (10 月 17 日) 18 時より (西日本工業クラブ)
会費 4,000 円 (定員 150 名)、総受付で受け付けます。
- 見学会** 第 2 日目 (10 月 17 日) 13 時より (新日鉄・八幡製鉄所)
参加希望者は定員 (バス 2 台) がありますので、往復ハガキにて 9 月末日までに下記までお申込みください。
804 北九州市戸畑区仙水町 1-1 九工大・工・電気工学 嶺 勝敏
- 展示会** 「ワークステーション展示会」
(九工大情報科学センター 1 階ロビー)
- 研究賞・学術奨励賞の表彰** 平成元年度研究賞 (3 回) および前回 (第 38 回) 全国大会学術奨励賞受賞者の表彰を
本大会時におこないます。
- 宿泊案内** 前号本欄をご参照ください。

IFIP CAPE '89 国際会議の参加登録について

第3回 産業へのコンピュータ応用国際会議 (The 3rd International Conference on Computer Applications in Production and Engineering) は、来る10月2日～5日に京王プラザ (東京・新宿) にて、IFIP (情報処理国際連合) ならびに情報処理学会、精密工学会で下記により共催されます。

同国際会議は、1983年にオランダ、1986年にデンマークで、今回の東京開催は第3回目で、参加国は約20カ国におよび、産業へのコンピュータ応用国際会議として、国際的に高い評価を得ております。わが国から、できるだけ多くの方々の参加が期待されています。

- 期 日 1989年10月2日 (月)～5日 (木)
- 会 場 京王プラザ (東京・新宿)
- 主要テーマ

(1) Conference (10月3日～5日)

基 礎	主 要 技 術	応 用 他
人工知能、知識ベース、データベース、マンマシンインタフェース、数値シミュレーション、幾何モデリング、FEM、マルチメディア処理、画像処理、パターン認識、コンピュータグラフィックス、アニメーション、VLSI 技術、新材料とデバイス、センサ	設計論、製品モデリング、参照モデル、CAD、CAM、CAE、CAT、工程設計、生産管理、ロボット、モニタリング、保守システムアーキテクチャ、システムライフサイクル管理、通信手順、LAN、WAN、ネットワーク標準化	エキスパートシステム、産業界における応用システム、MIS、CIM、自動制御、ヒューマンファクタ、社会への影響

(2) Tutorial (10月2日)

- i CAD System: Methods of Installation and Education
- ii Neural Networks: Theory and Application
- iii Fuzzy Logic: Theory and Application

(3) 見学ツアー (10月6日) (各コース定員40名)

- i NEC 大月工場—FANUC (忍野)
- ii 日産自動車: 厚木—追浜
- iii 通産省工業技術院 (筑波) 機械技術研究所—電子技術総合研究所

(受入側の都合がありますので、9月28日までにお申込みください。また、同業者の工場見学はご遠慮ください)

参加費

Conference (60,000 円), Tutorial (20,000 円), 見学ツアー (5,000 円)

申込み: 用紙は6月号みどりのページ (xx~xxi) をご利用ください。

問合せ先 113 東京都文京区本郷 3-23-1

(財)日本学会事務センター国際会議事務局 CAPE '89 会議事務局
Tel. 03 (817) 5831 FAX. 03 (817) 5836



IFIP “ARCE” 論文・演示募集



教育におけるコンピュータ利用の新しい方法 Advanced Research on Computers in Education

本学会では IFIP TC 3 と共催で、教育におけるコンピュータの知的利用技術に関する国際会議を開催します。ペーパーセッションで発表する論文と、エクジビジョンセッションで演示する教育システム、教育ツールを下記の要領で募集します。

会議後、論文集が Elsevier 社から出版される予定です。

主催 (社)情報処理学会, IFIP/TC 3/WG 3.3
協賛 人工知能学会, 電子情報通信学会, CAI 学会, 日本教育工学会, コンピュータ教育開発センター
会期 1990年7月18日~20日
会場 学習院大学(予定)
テーマ New Learning Environments

Knowledge Representation of Educational Systems
Knowledge Acquisition for Educational Systems
Theoretical Foundation of Intelligent Tutoring Systems
Architecture of Intelligent Tutoring Systems
Empirical Foundation on Intelligent Tutoring Systems
Identification Technique for Error Origins
Student Modeling
Teaching Paradigms
Qualitative Simulation
Consultation Technique
Learner-machine Interface
Machine learning in Educational Systems

論文投稿要領 A4用紙に12ptダブルスペースでタイプして、図表を含めて10~20ページの範囲の英語論文4部。100ないし200語のアブストラクトと、テーマの中から最も関連の深い項目を選んで添付してください。

演示応募要領 300ないし400語の英文アブストラクトと、所定の応募用紙を提出してください。

期日 1989年11月15日(論文提出, 演示申込)
1990年2月1日(採録通知)

問合せ先 820 飯塚市大字川津 680-4 九州工業大学情報工学部 大槻説乎
Tel. 0948 (28) 5606 FAX. 0948 (28) 5582



IFIP “WCCE/90” 論文募集

教育におけるコンピュータ世界会議
5th World Conference on Computers in
Education



International
Federation for
Information
Processing



Australian
Computer
Society

IFIP TC 3 では、教育におけるコンピュータ利用全般に関する国際会議を下記の要領で開催します。この会議は5年に一度開催され、約60カ国から2,000人近くの研究者が参加します。ヨーロッパ・アフリカ地域、南北アメリカ地域、アジア・オセアニア地域で交代で開催されることになっており、今回はアジア・オセアニア地域で開催されます。是非、多数ご応募ください。

- | | |
|-------|---|
| 会 期 | 1990年7月9日～13日 |
| 場 所 | オーストラリア, シドニー |
| テ - マ | <ul style="list-style-type: none"> • Informatics in Elementary Education • Research on Educational Applications of Information Technologies • Informatic Education at the Secondary Level • Distance Learning • Advanced Curriculum Projects in Information Processing • Vocational Education and Training • Computer Based Training |

論文投稿要領 A4用紙にダブルスペースでタイプした英語論文5部。1ページ目に、論文題目、著者名、所属、住所、ショートアブストラクト、上記のテーマの中のものとの関連の深い項目を1つおよびキーワードをかく。

期 日 1989年10月1日 (論文提出)
1990年1月 (採録通知)

論文投稿先 WCCE/90 Programme Chairman
WCCE/90, PO Box 319
Darlinghurst, NSW 2010
AUSTRALIA

論文募集要項
請 求 先 情報処理学会事務局国際担当 横山

情報処理学会 第 40 回 全国大会実施要領

情報処理学会第 40 回全国大会（平成 2 年前期）を次の要領で開催します。

講演発表希望者は、実施要領を熟読のうえ、日程に従って所定の手続きを進めてください。

第 37 回から講演発表申込みは本論文で行い、論文締切後、ただちにプログラム編成委員会を開催し、プログラム編成を行うことになりました。

このため、講演申込、原稿用紙の請求、論文提出、講演日時のお知らせなどの方法が変更になっております。

論文締切日の厳守を徹底しますので、論文等の提出は必ず期日までにお出しく下さい。一日でも遅れると発表できなくなりますので、特にご注意願います。

開催期日 平成 2 年 3 月 13 日(火)～16 日(金)（ただし、13 日は 30 周年記念全国大会講演予定）

会場 早稲田大学・理工学部（東京都新宿区大久保 3-4-1）

- 日程一覧**
1. 講演発表用原稿用紙等の請求
学会誌本号（Vol. 30, No. 8）掲載の請求書に記入して、応募規程 IV.1 の申込方法により請求してください。
 2. 原稿用紙等の送付
請求書を 10 月 23 日(月) に締切り、事務局から「講演発表申込書」、「論文原稿用紙」等をお送りします。
 3. 講演論文等の提出
講演論文（本原稿）、「講演発表申込書」等を一括して **12 月 4 日(月)** までに、学会事務局に必着するようにご提出ください。応募規程 IV.2 参照。締切りに遅れますと発表できなくなりますので、特にご注意ください。
 4. プログラム編成委員会の開催
講演論文等を締切り次第、大会プログラムの編成および座長候補の推薦を行います。この後、ただちに事務局から座長に依頼をいたします。
 5. 講演発表者には講演番号を 1 月中旬に到着するようご通知いたします。
 6. 大会プログラムを学会誌 2 月号（Vol. 31, No. 2）に掲載いたします。発表者は特にご注意ください。
 7. 論文集予約申込書を学会誌 12 月号（Vol. 30, No. 12）に掲載します。お早目にご予約ください。

応募規程

- I. 講演内容
 1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
 2. 発表は日本語または英語とします。
- II. 応募資格
 1. 登壇発表者は申込時に情報処理学会個人会員であること。
 2. 共同発表者は当学会個人会員であることが望ましい。
 3. 平成元年度会費未納の会員は発表できません。
 4. 電気、電子情報通信、照明、テレビジョン各学会会員は当学会会員と同様の取り扱いとします。ただし、表彰対象者になりません。
- III. 講演論文該当分野
 1. 情報科学一般
 - A. 一般
 - a. 哲学, b. 歴史, c. 伝記, d. その他
 - B. 社会
 - a. 規格, b. 標準化, c. 知的所有権, d. 社会問題, e. その他
 - C. 教育
 - a. 情報科学・工学の教育, b. カリキュラム, c. コンピュータリテラシ, d. CAI, e. 教育工学,

- f. その他
- 2. 基礎理論及び基礎技術
 - A. 情報数学
 - a. 形式論理, b. オートマトン理論, c. 形式言語理論, d. 計算可能性の理論, e. 計算の複雑さ, f. アルゴリズム論, g. グラフ理論, h. 組合せ理論, i. ファジー理論, j. 符号理論, k. 整数論, l. その他
 - B. 情報理論及び OR
 - a. 情報理論, b. 線形・非線形計画法, c. 動的計画法, d. 整数計画法, e. ゲーム理論, f. 待ち行列理論, g. その他
 - C. データ解析
 - a. 推定・検定, b. 確率モデル, c. 統計・確率計算, d. 多変量解析, e. その他
 - D. 数値計算
 - a. 誤差解析, b. 関数近似, c. 補間, d. 線形計算, e. 非線形方程式, f. 数値微積分, g. 常微分方程式, h. 偏微分方程式, i. 積分方程式, j. 極値問題, k. 最適化, l. 特殊関数, m. 数式処理, n. 乱数, o. その他
 - E. シミュレーション
 - a. 有限要素法, b. 境界要素法, c. 差分法, d. モンテカルロ法, e. その他
- 3. 人工知能及び認知科学
 - A. 基礎理論
 - a. 探索, b. 定理自動証明, c. 推論方式, d. 知識表現, e. 知識獲得, f. 非単調理論, g. 学習理論, h. コネクショニズム, i. その他
 - B. 人工知能システム
 - a. エキスパートシステム, b. ガイダンスシステム, c. エキスパートシステム作成支援ツール, d. ゲームプログラム, e. 演繹データベース, f. 知能ロボット, g. その他
 - C. 自然言語処理
 - a. 機構翻訳, b. 自然言語インタフェース, c. 対話システム, d. 形態素解析, e. 構文解析, f. 意味解析, g. 文生成, h. 談話理解, i. 文法, j. 辞書, k. その他
 - D. パターン認識
 - a. 音声認識, b. 話者識別, c. 画像理解, d. 物体認識, e. 文字認識, f. リモートセンシング, g. その他
 - E. 生体情報処理
 - a. 視覚, b. 聴覚, c. 神経モデル, d. ニューラルネットワーク, e. その他
 - F. 感性情報処理
 - a. 心理モデル, b. 行動モデル, c. 感情モデル, d. その他
- 4. データ処理
 - A. 音声処理
 - a. 音声分析, b. 音声合成, c. その他
 - B. 画像・図形処理
 - a. 画質改善, b. 帯域圧縮, c. 符号化, d. 曲面合成, e. トモグラフィ, f. 3次元処理, g. グラフィックス, h. アニメーション, i. その他
 - C. テキスト処理
 - a. ワードプロセッシング, b. 日本語入出力, c. 文書処理, d. 卓上出版, e. フォントデザイン, f. その他
 - D. マルチメディア処理
- 5. ソフトウェア
 - A. 基礎理論
 - a. プログラム理論, b. オペレーティングシステム理論, c. データベース理論, d. 形式的意味論, e. 算法論理, f. 検証理論, g. カテゴリ理論, h. 属性文法, i. 計算パラダイム, j. プログラム合成・変換, k. その他
 - B. プログラム言語及び仕様記述言語
 - a. 手続き型言語, b. 論理型言語, c. 関数型言語, d. オブジェクト指向言語, e. 並列処理言語, f. システム記述言語, g. 数式処理言語, h. シミュレーション言語, i. 仕様記述言語, j. その他
 - C. 言語処理系

- a. 構文解析, b. コード生成, c. 最適化, d. コンパイラ, e. インタプリタ, f. その他
- D. ツール
 - a. エディタ, b. デバッガ, c. ベリファイヤ, d. コンパイラジェネレータ, e. ウィンドウシステム, f. その他
- E. オペレーティングシステム
 - a. 記憶管理, b. 入出力管理, c. 障害管理, d. 通信管理, e. ファイル管理, f. ジョブ・タスク管理, g. 自動運転管理, h. 並列分散処理, i. 例外処理, j. 性能評価, k. その他
- F. データベース・情報検索
 - a. データモデル, b. データ言語, c. データベース設計, d. 質問処理, e. トランザクション処理, f. 一貫性制約, g. ファイル構成, h. 検索方式, i. 分散データベース, j. マルチメディアデータベース, k. その他
- G. プログラミング技術
 - a. データ構造, b. ガーベージコレクション, c. ハッシング, d. ソーティング, e. サーチング, f. その他
- 6. ソフトウェア工学
 - A. 開発技術
 - a. 設計理論, b. 要求分析法, c. 仕様記述法, d. プログラミング方法論, e. プロトタイピング, f. 部品化・再利用技術, g. プログラム自動構成, h. その他
 - B. テスト・保守
 - a. プログラムのテスト・デバッグ, b. プログラム検証, c. 性能評価, d. プログラム解析, e. 保守運用管理, f. その他
 - C. ソフトウェアプロセス
 - a. プロセスモデル, b. プロセスプログラミング, c. 工程管理, d. その他
 - D. 開発環境
 - a. 構成理論, b. 分散開発環境, c. 文書化支援, d. その他
 - E. ヒューマンファクタ
 - a. マン・マシンインタフェース, b. 要員教育・プロジェクト管理, c. プログラミング行動, d. その他
- 7. ハードウェア
 - A. 基礎理論
 - a. 組合せ回路理論, b. 順序回路理論, c. 論理設計理論, d. レイアウトアルゴリズム, e. ハードウェアアルゴリズム, f. その他
 - B. 論理回路
 - a. 記憶回路, b. 演算回路, c. 制御回路, d. 誤り検出・訂正回路, e. テスト容易化回路, f. その他
 - C. ディバイス
 - a. 論理ディバイス, b. 記憶ディバイス, c. 入出力ディバイス, d. ASIC PLD, e. その他
 - D. アーキテクチャ
 - a. 汎用計算機, b. 専用計算機, c. スーパーコンピュータ, d. ワークステーション, e. 高級言語マシン, f. 非ノイマンアーキテクチャ, g. 並列アーキテクチャ, h. マイクロプログラム, i. フォールトトレランス, j. その他
 - E. 周辺・端末
 - a. 外部記憶, b. ディスプレイ装置, c. ハードコピー装置, d. 文字読取装置, e. 図形入出力装置, f. 音声入出力装置, g. その他
 - F. 設計技術及び設計自動化
 - a. 方式設計, b. 機能設計, c. 論理設計, d. レイアウト設計, e. テスト設計, f. 設計記述言語, g. シリコンコンパイラ, h. その他
 - G. 開発環境
 - a. 統合化ツール, b. 設計環境, c. 設計データベース, d. その他
 - H. テスト・検証
 - a. LSI テスト, b. ハードウェア設計検証, c. 性能評価, d. その他
- 8. ネットワーク
 - A. 通信技術

- a. データ交換方式, b. 通信方式, c. 画像通信, d. トラフィック理論, e. ネットワークアーキテクチャ, f. プロトコル, g. プロトコル検証, h. その他
- B. ネットワーク管理
 - a. 名前管理, b. 経路管理, c. 障害管理, d. その他
- C. コンピュータネットワーク
 - a. WAN, b. LAN, c. 電子会議, d. 電子掲示板, e. 電子メール, f. 分散処理, g. その他
- 9. システム
 - A. 対話型システム
 - a. 構成理論, b. 方法論, c. CAE, d. CAD, e. CAM, f. CIM, g. CAI, h. 管制システム, i. 訓練システム, j. 意志決定システム, k. オフィスシステム, l. その他
 - B. オンラインシステム
 - a. 予約システム, b. バンキングシステム, c. その他
 - C. 制御システム
 - a. プロセス制御, b. 数値制御, c. 通信制御, d. 産業用ロボット, e. FA, f. その他
 - D. システム評価
 - a. 評価技法, b. 評価指標, c. 評価モデル, d. その他
- 10. 信頼性と安全性
 - A. 信頼性
 - a. 信頼性理論, b. 保安全性理論, c. 信頼性評価, d. 故障解析, e. その他
 - B. 機密保護
 - a. 暗号理論, b. 認証, c. 鍵管理, d. 鍵配送, e. セキュリティ, f. その他
- 11. 応用
 - A. 企業等への応用
 - a. オフィス, b. 行政, c. 経営, d. 金融, e. 情報サービス, f. 生産管理, g. 計算センタ運営, h. 教育, i. その他
 - B. 工学等への応用
 - a. 航空・宇宙, b. 機械, c. 土木, d. 建築, e. 都市, f. 電気・電子, g. 計測, h. 生物, i. 物理, j. 化学, k. 原子力, l. 輸送・交通, m. 医学・歯学, n. その他
 - C. 芸術等への応用
 - a. 音楽, b. 絵画, c. 商業デザイン, d. その他
 - D. その他への応用
 - a. 自然科学, b. 社会科学, c. 人文科学, d. 障害者補助, e. その他
- IV. 申込方法
 1. 発表を計画された時

本号みどりのページ掲載の「全国大会講演発表用原稿用紙等請求書」に必要事項を記入して申込むこと。
 2. 講演論文を提出される時

講演論文（本原稿）および講演発表申込書等を添えて申込むこと。

なお、連続発表を希望される場合は、別紙にて標題、講演者名および発表順番を明記し、申込書と原稿をまとめて送付すること。
- V. 申込件数
 1. 登壇発表は原則として1人1件とします。
 2. 2件以上になる場合は、1件ごとに発表料が必要です。また、別紙にて標題、発表分野を明記し、申込書と原稿をまとめて送付すること。
- VI. 申込料金
 1. 1件につき、1ページ論文は**6,000円**、2ページ論文は**7,000円**です。
 2. 講演申込書、論文等を提出する際、同時に納入してください。なお、納入後、発表申込を取消されても返金できませんのでご注意ください。
- VII. 論文提出

1. 論文は、12月4日(月)(必着)までに提出してください。
2. 論文は日本語または英語とします。
3. 論文抄録を「学会発表データベース(第一系)、学術情報センター」に入力することになりました。所定の用紙および記入要領に従って記入のうえ論文と一緒に提出してください。なお、著作権は学会と共有です。
4. ワープロ、タイプで作成した原稿はプリントした原文をお使いください。
5. 論文提出後の訂正は原則としてできません。
ただし、やむを得ない事情で訂正(本文の訂正に限ります)をしたい場合は、1月12日(金)一日(午前9時から午後5時まで)に限り、学会事務局2階にて訂正を受付けます。なお、郵便、電話等による訂正はできませんのでご注意ください。

VII. 論文の採否

講演論文の採否は大会運営委員会(プログラム編成委員会)が決定する。採択しないものは、例えば次のような場合である。

1. 論文の内容が著しく不十分なもの。
2. 内容が商業宣伝に偏したもの(極端な商品名の引用には注意する)。
3. 同一または類似の発表がなされており、かつ前進がないもの。
4. 応募規程に違反するもの。
5. 提出期限に遅れたもの(次回への応募をお薦めします)。

VIII. 論文集の配布

発表者には大会当日受付けにて、論文集全冊をお渡しします。

IX. 発表論文の別刷はいたしません。

X. 発表当日の講演者心得

1. 講演の始まる前に、必ず自分の発表会場の講演者受付で、出席の確認を受ける。
2. 必ず前の講演者の講演時間中には、座長席の前に設けられた講演者控で待機する。
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて15分間とします(都合により13分間のセッションもあります)。講演中でも時間切れで打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の5分前および3分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代理(読)は認めません。

XI. 申込先及び問合せ先

(社)情報処理学会 全国大会係

〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (505) 0505

第 40 回 全国大会講演発表用原稿用紙等請求書

1. 発表を希望する者は氏名、住所、請求部数を記入して申込みこと、返送用宛名用紙にも同様に記入のこと。
2. 原稿用紙等の送料として1組希望の場合は郵便切手 175 円、2組以上の場合は1組増すごとに75円添付のこと。
3. 申込みは本用紙のコピーを郵送のこと。
4. 本号掲載の実施要領をよく読んで請求してください。
5. 返信用封筒はいりません。

氏 名 _____ Tel. _____

住 所 _____

請求部数 1 ページ発表…… _____ 組請求します。

2 ページ発表…… _____ 組請求します。

(切り取らずにお申込みください)

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	(氏名) (住所)
情報処理学会第40回全国大会 原稿用紙在中	
1 ページ発表 組	
2 ページ発表 組	
	殿

データベース・ウィーク '89

平成元年12月3日(日)から8日(金)まで、(社)情報処理学会(IPSJ)、または、(財)京都高度技術研究所(ASTEM RI/Kyoto)の主催で、(1)第1回演繹・オブジェクト指向データベース国際会議(DOOD '89)、(2)DOOD チュートリアル、(3)アドバンスト・データベース・システムシンポジウム(ADS シンポジウム)、(4)近未来 DB 技術展を次のような日程で開催します。奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

12月3日(日)	DOOD チュートリアル	
4日(月)	DOOD '89	
5日(火)	DOOD '89	近未来 DB 技術展
6日(水)	DOOD '89	近未来 DB 技術展
7日(木)	ADS シンポジウム	近未来 DB 技術展
8日(金)	ADS シンポジウム	

(1) 第1回 演繹・オブジェクト指向データベース国際会議(DOOD '89)

後援 ECRC, ICOT, INRIA, MCC

協賛 ACM SIGMOD, IEEE CS 等

会場 京都市サテライトパーク サイエンスセンタービル内会議場

主旨 最近、次世代のインテリジェントデータベースを構築するための強力なデータベースの骨組みを与えるために、オブジェクト指向のパラダイムとルールに基づく演繹システムの融合をめざす研究の必要性が叫ばれ、その研究が盛んになりつつある。そこで、この問題だけにテーマを絞った国際会議の第1回を日本で開催する運びとなった。テーマとしては下記のものを含むが、これだけに限ってはいない。ただし、DOOD は、演繹・オブジェクト指向データベース(Deductive and Object-Oriented Databases)の略である。

- ・論理とオブジェクトパラダイムの融合
- ・DOOD とプログラミング言語の融合
- ・DOOD における人工知能技術
- ・オブジェクト指向概念の形式化
- ・並列論理型/オブジェクト指向プログラミング
- ・DOOD における問合せ言語及び問合せ最適化
- ・DOOD システムに対する高級ユーザインタフェース
- ・実 DOOD システム
- ・DOOD システムの応用
- ・DOOD における一貫性制約
- ・DOOD システムの性能評価

主な委員 会議委員長 大野 豊(情報処理学会前会長 京都高度技術研究所所長)

運営委員長 Jack Minker(米国メリーランド大)

プログラム委員会:

- アメリカ地区委員長 Won Kim(米国 MCC)
- ヨーロッパ地区委員長 Jean-Marie Nicolas(西ドイツ ECRC)
- 極東地区委員長 西尾章治郎(大阪大)
- 実行委員会委員長 牧之内顕文(富士通研)
- 組織委員会副委員長 上林 彌彦(九州大)
- 地方準備委員長 阿草 清滋(名古屋大)

プログラムの概要

【基調講演】 淵 一博(ICOT 所長)

- 【招待論文】 F. Bancilhon (フランス Altair): オブジェクト指向データベース
 C. Zaniolo (米国 MCC): 演繹データベース
 C. Beeri (イスラエル ヘブライ大学): オブジェクト指向データベースと演繹データベースの融合

【投稿論文発表】 採録論文は決定済み

【パネル討論】 座長 M. Brodie (米国 GTE): オブジェクト指向データベース, 演繹データベースを中心に将来のデータベースシステムの展望に関してのパネル討論を行う。

参加登録費 一般: 30,000 円 (事前登録)/40,000 円
 学生: 10,000 円 (事前登録)/18,000 円
 事前登録は 1989 年 11 月 1 日で締切る。
 バンケット (12 月 5 日) 参加料は別途 5,000 円必要。

問合せ先 DOOD '89 事務局
 600 京都市下京区中堂寺南町 17
 京都リサーチパーク サイエンスセンタービル
 (株)サイエンスセンター・インターナショナル (SIC) 内
 Tel. 075 (322) 7888 (代) FAX. 075 (322) 5348 宮崎

(2) DOOD チュートリアル

会場 京都リサーチパーク内 (財)京都高度技術研究所 2F 研修室
主旨 演繹データベース, オブジェクト指向データベースに関する基礎概念および応用に関して, 主に邦人を対象としたチュートリアル講演を行う。

プログラム [セッションA]
 午前 10:30~午前 11:50 オブジェクト指向データベース (基礎概念) 田中 克己 (神戸大)
 午後 1:00~午後 2:00 演繹データベース (基礎概念) 西尾章治郎 (大阪大)
 [セッションB]
 午後 2:30~午後 3:50 オブジェクト指向データベースシステムのアーキテクチャ (仮題)
 Won Kim (MCC)
 午後 4:00~午後 5:20 オブジェクト指向データベースの応用 (仮題) 海外講師 (交渉中)

参加費

	全セッション	セッションA	セッションB
一般	¥ 15,000	¥ 8,000	¥ 8,000
学生	¥ 3,000	¥ 2,000	¥ 2,000

定員 100 人

問合せ先 DOOD チュートリアル・展示会 事務局
 600 京都市下京区中堂寺南町 17
 京都リサーチパーク (財)京都高度技術研究所内
 Tel. 075 (315) 3625 FAX. 075 (315) 3614 森田

(3) アドバンスト・データベース・システムシンポジウム (論文募集)

会場 京都リサーチパーク サイエンスセンタービル内会議場

主旨 現在, 次世代データベースシステム技術の研究開発が国内外において急速に活発化しており, 特に, 応用分野の広がりにもなう高機能化・データベース・モデリング能力の高度化・マルチメディア情報の扱い・ハイパーメディアとデータベースの結合・プログラミング言語や演繹機能との融合などと

いう立場から、種々の研究開発が行われている。本シンポジウムでは、次世代データベースシステムに関連する基礎的な問題から応用事例にいたるまでの先鋭的な論文を募集し、次世代データベースシステムの今後の方向や問題点などを討論する場としたい。特に、今年度は、同時期に京都で開催される DOOD '89 に引続いて本シンポジウムを行うことにより、国際交流を深める場としたい。

トピックス 本年度は、主に、次世代データベース技術に関連する以下のようなトピックスに焦点をあて、これに関する理論・システム開発・高度応用事例などの論文を募集する。なお、以下のトピックス以外の論文投稿も受付ける。

ハイパーメディア、図形・画像・音声データベース、視覚的操作言語、文書処理・DTP とデータベース、自然言語辞書、テキストデータベース、データベース設計、ビジュアルインタフェース、高度データモデル（意味データモデル、オブジェクト指向データモデルなど）、データベースプログラミング言語、プログラミング言語との融合、CAD/CAM/CIM データベース、CASE・ソフトウェア CAD 用データベース、分散型データベース、データベースの並列処理・分散処理

- 実施方法**
- (a) 発表論文については審査制とする。
 - (b) 応募論文の形式は、次の 2 方法のうちいずれかとする。
アブストラクトも含めて英文 5,000 語まで、または、邦文 9,000 字まで（英文アブストラクトを添付したもの）。
 - (c) 発表は、7 日は英語、8 日は日本語による発表とする予定。
 - (d) 興味の高いテーマについてサーベイや招待講演を行う予定。
 - (e) スケジュールは次のとおりとする。
論文締切 8 月 31 日(木)、採録決定 9 月 30 日(土)、最終論文提出締切 11 月 4 日(土)
 - (f) 応募論文はコピー 3 部を下記申込み先へ送付のこと。

申込み先 (社)情報処理学会 アドバンスト・データベース・システムシンポジウム係
106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (505) 0505

(4) 近未来 DB 技術展（出展募集中）

会場 京都リサーチパーク内 (財)京都高度技術研究所 5, 6F フロア

主旨 データベースシステム、ハイパーメディアシステムを集めた展示会、および展示品に関する開発メーカー担当者などによる技術的な説明発表会を行う。

展示内容 (説明発表を含めて) 募集中：国内企業30社、海外企業数社、国内外学術機関を予定。
データベース管理システム (DBMS)、データベース設計支援ツール、マルチメディア・データベース管理システム、ハイパーテキスト、ハイパーメディア、マルチメディアパソコン/ワークステーション

問合せ先 DOOD チュートリアル・展示会 事務局
600 京都市下京区中堂寺南町 17
京都リサーチパーク (財)京都高度技術研究所内
Tel. 075 (315) 3625 FAX. 075 (315) 3614 森田

支部だより

北海道支部

支部大会案内

—平成元年度電気関係学会北海道支部連合大会—

期 日 平成元年 9 月 30 日 (土), 10 月 1 日 (日)
 会 場 室蘭工業大学 (室蘭市水元町 27-1)
 特別講演 ドイツ語圏の俳句 坂西 八郎 (室蘭工大)
 懇親会 9 月 30 日 (土) 18:00~ 室蘭工業大学 学生会館 会費 3,500 円 (学生 2,000 円), 当日受付.
 問合せ先 060 札幌市北区北 13 条西 8 丁目 北海道大学工学部電気工学科事務室内
 電気関係学会北海道支部連合大会実行委員会事務局 Tel. 011 (716) 2111 (内 6514)

東北支部

支部大会案内

—平成元年度電気関係学会東北支部連合大会—

期 日 平成元年 8 月 24 日 (木), 25 日 (金)
 会 場 日本大学工学部 (福島県郡山市田村町徳定字中河原 1 番地, JR 郡山駅より, 福島交通バス日大または徳定行き日大下車)
 論文集 発表者には, 大会当日受付にて配布する. 購入希望者は, 所要部数を早めに申込むこと (1 部 2,500 円, 郵送希望の場合は, 郵送料 1 部 510 円)
 懇親会 8 月 24 日 (木) 18:00~ 場所 郡山市内 会費 3,000 円 申込は当日大会会場で受け付けます.
 問合せ先 980 仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学工学部電気情報系内 電気関係学会東北支部連合事務局
 Tel. 022 (222) 1800 (内 4312) 庄司

中部支部

支部大会案内

—平成元年度電気関係学会東海支部連合大会—

期 日 平成元年 10 月 2 日 (月), 3 日 (火)
 会 場 静岡大学工学部 (浜松市城北 3-5-1)
 特別講演 (予定) 光と共に 35 年 (2 日 午後) 晝間 輝夫 (浜松ホトニクス)
 シンポジウム (依頼)
 画像処理デバイスの現状と展望 座長 萩野 實 (静 大)
 リニアモータエキスプレス 座長 鬼頭 幸生 (名 大)
 最近のセンサ技術 座長 内川 嘉樹 (名 大)
 種々のプログラミングパラダイムの比較と効果 座長 落水浩一郎 (静 大)
 音声・画像の帯域圧縮 座長 板倉 文忠 (名 大)

- 最近の半導体デバイス 座長 梅野 正義 (名工大)
- 一般参加費** 講演者以外は、参加費（正会員 500 円、会員外 800 円、学生無料）を当日受付で支払い、参加章を受取ること。ただし、論文集購入者は参加費不要。
- 論文集予約** 代金 2,000 円（当日価格 2,200 円）を添えて 8 月 31 日（木）までに下記の実行委員会へ申し込むこと。事前に引換券を送付し、論文集は当日渡す。郵送希望者は、1 冊につき送料 510 円を加えて送金のこと、発送は大会終了後。
- 懇親会** 2 日（月）夕刻 静岡大学工学部会館 会費 3,500 円（学生 2,000 円）
参加希望者は当日大会受付で会費を添え申し込むこと。
- 問合せ先** 464-01 名古屋市中区千種区不老町 名古屋大学工学部電気系教室内
電気関係学会東海支部連合大会実行委員会 Tel. 052 (781) 2222

見学会

- 期 日** 平成元年 8 月 25 日（金）12：45～18：00
- 見学先** 12：45 集合
13：30～15：45 トヨタ博物館（名古屋市外長久手町）
15：45～17：15 愛知工業大学計算センター（豊田市八草町八千草 1247）
18：00 解散
- 交通** 地下鉄東山線本郷駅下車 本郷駅・見学先間送迎バス
- 参加費** 無料 定員 50 名（応募者多数の場合は抽選）
- 申込方法** はがきに「トヨタ・愛工大見学会申込」と記入し、氏名、所属、連絡先を明記のうえ、下記宛へ送付する。
- 問合せ先** 460 名古屋市中区錦 2-17-21 NTT DATA 東銀ビル
NTT データ通信(株)東海支社企画部内 情報処理学会中部支部 Tel. 052 (204) 4517

専門講習会

——パソコンの応用技術——

- 期 日** 平成元年 11 月 8 日（水）、9 日（木）
- 会 場** 名古屋通信ビル 2 階ホール（名古屋市中区千代田 2-15-18）
- 定 員** 120 名（先着順）
- 会 費** 会員 10,000 円（学生 5,000 円）、会員外 15,000 円
- 申込方法** はがきに「住所、氏名、勤務先（電話番号）、所属学協会名」を記して 10 月 20 日（木）までに申し込む。なお、同時に会費を下記の方法で送金のこと。参加決定者には参加証を送ります。テキストは当日会場で渡す。テキストのみの申込みは受付ません。
- 送金方法** 1. 現金書留：申込内容を適当な用紙に記入し、同封のこと。
2. 銀行振込：三井銀行本山支店（普通預金）口座名「電気学会東海支部専門講習会」
口座番号 969-589 へ振込む。その場合、はがきでの申込者は必ず銀行振込と明記のこと。
- 申込先** 464-01 名古屋市中区千種区不老町 名古屋大学工学部電気系教室内
電気学会東海支部 Tel. 052 (781) 2222

プログラム

8日(水)

序論(10:00~10:20)	岩住 哲朗(名工大)
自家用高低圧遮断器の選定エキスパートシステム(10:20~12:00)	鬼頭 幸生(名大)
パソコンによるニューロ・コンピューティング(13:00~14:40)	岩田 彰(名工大)
機械設計におけるパソコンCAD(15:00~16:40)	長田 孝義(大隈鉄工)

9日(木)

パソコン通信と無線LANの動向(10:00~11:40)	石松 彰, 中村 謙一(沖電気)
パソコンによる時系列信号のデータ処理(13:00~14:40)	井 研治(三重大)
教材開発支援システム“SCHOOL-ACF”の開発と利用状況について(15:00~16:40)	関 幸一(富士通)

関 西 支 部

第1回 ソフトウェア研究会

期 日 平成元年10月12日(木) 13:00~16:40
 会 場 (財)関西情報センター会議室(大阪市北区梅田1丁目3番1-800号, 大阪駅前第1ビル8階)
 定 員 約50名
 資 料 代 600円

プログラム テーマ「エキスパートシステム構築支援ツール」

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------|
| (1) エキスパートシステム構築支援ツールの現状と動向 | 馬野 元秀(阪大) |
| (2) 知識情報処理システム構築支援ツール XPT-II | 高田 司郎(CSK) |
| (3) KBMSにおけるES開発支援機能について(仮題) | 森原 一郎(NTT) |
| (4) 統合化エキスパートシステム開発環境 GURU の機能説明と開発事例 | 柳田 俊一(日本コンピューター・システム) |

問合せ先 情報処理学会関西支部 Tel. 06 (346) 2543

中 国 支 部

支部大会講演募集

——平成元年度電気関係学会中国支部連合大会——

期 日 平成元年10月29日(日)
 会 場 広島大学(東広島市西条町大字下見)
 講演申込締切 8月31日(木)「講演申込書」「原稿用紙」「講演申込費(郵便振替)」必着のこと。6月号本欄参照
 講演申込費 講演1件につき2,300円(論文集1部, 別刷30部の代金を含む), なお, 別刷は大会当日会場で渡す。
 論文集予約 代金1部2,000円(含送料)を添えて8月31日(木)までに申込みこと。大会当日の販売部数には限りがあるので, 必要な方は予約をお勧めする。
 懇親会 10月29日(日)特別講演終了後 会費3,000円

なお、参加希望者ははがきで10月19日(木)までに申込み、会費は当日受付で支払うこと。

申込先 730 広島市中区小町 4-33 中国電力(株)営業部内
照明学会中国支部(山沢) Tel. 082 (241) 0211 (内 3353)

九州支部

支部大会講演募集

—電気関係学会九州支部 第42回 連合大会—

- 期 日** 平成元年10月13日(金), 14日(土)
- 会 場** 佐賀大学理工学部(佐賀市本庄町1)
- 特別講演** 13日(金) 15:30~17:00 教養部大講義室
魏志倭人伝と吉野ヶ里遺跡 高島 忠平(佐賀県教育委員会)
- 講演申込締切** 8月28日(月) 午後5時「原稿」「講演申込書」「講演申込費」必着のこと。6月号本欄参照
- 講演申込費** 講演1件につき3,000円(講演者には論文集を1部大会当日受付にて贈呈する。別刷の申込には応じない)
- 論文集** 予約を原則としますので8月28日までに必ず代金を添え申込むこと(1部3,000円, 送料360円)
発送は大会終了後
- 懇親会** 10月13日(金) 18:00~20:00 佐賀大学学生会館大食堂
会費4,000円(同伴家族・学生2,000円)。参加希望者は9月30日(土)までに代金を添え申込むこと。
- 申込先** 812 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学工学部電気工学教室内 電気関係学会九州支部連合会
Tel. 092 (641) 1101 (内 5300) (郵便振替口座番号 福岡 8-33001)
- 見学会** 10月12日(木) 13:00~16:00
場所 吉野ヶ里遺跡(佐賀県神埼町・三田川町: 佐賀大から貸切りバス 30分)
参加費 無料, 定員 90名(申込先着順)
申込方法 はがきまたは封書にて, 氏名, 勤務先, 住所, 電話番号を記入のうえ, 下記あて申込むこと。
申込先 840 佐賀市本庄町1 佐賀大学理工学部電子工学科内
電気関係学会九州支部連合大会実行委員会 Tel. 0952 (24) 5191 (内 2658, 2660, 2654)

「情報処理ハンドブック」の頒布について

このたび、面目を一新した新版の「情報処理ハンドブック（B5判，1,600ページ）」を発行いたしました。情報処理・情報工学および情報科学の全分野をカバーした我が国で最も権威のあるハンドブックで、関連技術者・研究者・教育者・学生の好伴侶となり、また専門外の読者でも容易に概念がつかめ、更に深く進むための手引きとなります。早速に購読されることをお勧めします。

会員には特別価格でお頒けいたしますので、希望者は下記により所定の申込書（コピーにて可）にてお申込みください。なお、目次は次のとおりです。

計算の理論，システム解析の基礎，数値解析，ハードウェア，計算機アーキテクチャ，オペレーティングシステム，データ工学，コンピュータネットワーク，プログラミングの基礎，プログラミング言語の記述と処理系，ソフトウェア工学，人工知能，高水準インタフェース技術，システム論，応用システム，教育，規格と資料。

記

定 価	33,990 円（本体 33,000 円）	送料 900 円
会員特価	28,840 円（本体 28,000 円）	送料 900 円
申 込 先	106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 情報処理学会「情報処理ハンドブック」係 Tel. 03 (505) 0505	

平成 年 月 日

「情報処理ハンドブック」購入申込書

下記により購入を申込みます。（該当欄を○で囲む）

1. 氏 名 _____

連絡先 (〒 _____) _____

Tel. _____

送本先 (〒 _____) _____

2. 情報処理ハンドブック (28,840 円，送料 900 円) 冊

3. 送金の方法

¥ _____ 也を次の方法で送金します。（送金日 ____月 ____日）

a. 現金書留 b. 郵便振替（東京 5-83484） c. 銀行振込（_____銀行宛）

銀行振込口座番号（いずれも普通預金）

第一勧銀虎ノ門支店	1013945	富士銀行虎ノ門支店	993632
三菱銀行虎ノ門公務部	0000608	三井銀行本店	4298739
住友銀行東京公務部	10899	三和銀行東京公務部	21409
名義人	東京都港区麻布台 2-4-2	社団法人	情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

請求書 _____ 通，見積書 _____ 通，納品書 _____ 通 (No. _____)

請求先 _____